

アビタスの教材とサポート

アビタスCISA®プログラムの特長は、質の高い講義と教材、サポートです。CISA®に精通した講師陣が講義を担当し、要点を解説します。オリジナルテキストは豊富な図解で128の論点を効率良くマスターできるよう構成しています。問題演習コンテンツも豊富にご用意しており、最短3カ月、150時間での合格を可能にします。受験手続きサポートをはじめ、学習に専念していただけるサポートも万全です。

■ 学習の流れ



■ 選べる受講形態

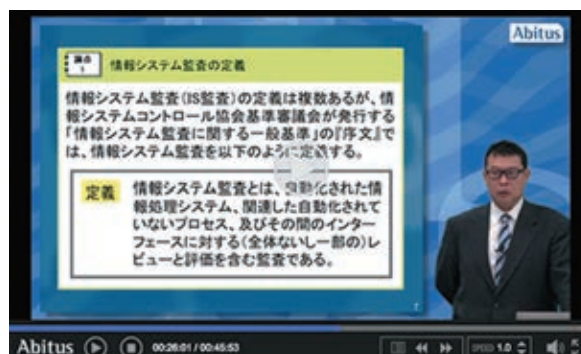
ライブ講義に出席する「通学コース」、Web上で学ぶ「eラーニング限定コース」があります。

※「通学コース」は年4回開講しています。

ライブ講義もeラーニングも活用したい方向けに「eラーニング・通学併用コース」もご用意しています。



ライブ講義風景



eラーニング動画

■ CISA®プログラム カリキュラム(ライブ講義各ドメイン2回 全10回・30時間)

ドメイン1

情報システム監査のプロセス(21%)

情報システム監査における監査計画、監査の実施、結果の評価および報告に至る一連の流れの主要なプロセスについて理解します。その中で、監査人が利用するサンプリングおよびコンピュータ支援監査技法(CAATs)等の監査ツールを扱います。また、ISACA®の「情報システム監査基準」及び、COBIT®に代表される情報システムにおける内部統制のフレームワークの基礎的な概念も学習します。

ドメイン2

ITガバナンスとITマネジメント(17%)

ITガバナンスとは、組織体の経営戦略と情報技術戦略を整合させることを保証するため組織体のITに関する体制を管理し、コントロールする活動をいいます。組織体における情報システム戦略策定の要素、リスク分析方法、職務分離のあり方、さらに事業継続計画(BCP)に関連する諸概念について詳しく学習します。

ドメイン3

情報システムの調達、開発、導入(12%)

電子メールや電子商取引(E-Commerce)に代表される業務アプリケーション・システムに関する知識、及び一連のシステム開発プロセスについて詳しく学習します。その中で、業務アプリケーション・システムの開発、購入、導入、保守の各段階における情報システム監査人の役割について理解します。また、アプリケーション・システムにおける入力、処理、および出力のコントロールを総称したアプリケーション・コントロールの詳細についても学習します。

ドメイン4

情報システムの運用とビジネスレジリエンス(23%)

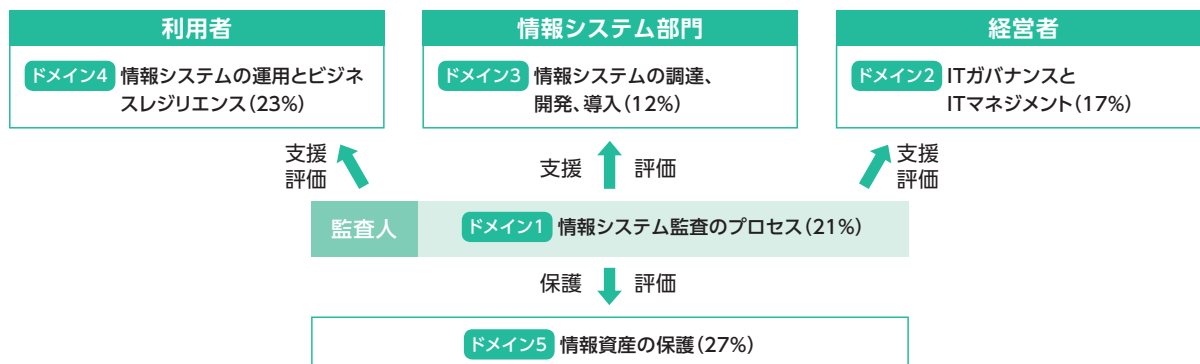
情報システムを構成するハードウェア、ソフトウェア、データベース及びネットワークの詳細な知識と、それらのインフラストラクチャーに対する監査方法を学習するとともに、ITに係る災害復旧計画に関する諸概念について学習します。

ドメイン5

情報資産の保護(27%)

不正なアクセスやコンピュータ・ウイルスなどから組織の情報資産を保護するための情報セキュリティについて扱います。IDやパスワード、生体認証などのアクセス統制、ファイアウォールに代表されるネットワーク上のセキュリティ管理について詳しく学習するとともに情報セキュリティに対する監査についても学習します。

■ 各ドメインの出題内容



■最短3カ月・150時間で合格を実現するプログラムの特長

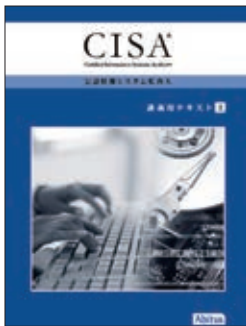
1 論点中心のオリジナルテキストと充実の講師陣

重要ポイントである「論点」をマスターし、最小限の学習でCISA®合格を目指せるようテキストを開発しています。講師陣もCISA®に精通しており、「合格」に的を絞った講義を行います。受講生による講師の評価も実施しており、講義の質の管理も徹底しています。

テキスト・電子テキスト

128の論点を効率よく学べるオリジナルテキスト

理解すべき128の論点到りこみでいるのが、当校オリジナルテキストです。豊富な図解を交えながら、複雑なコンセプトも一目で理解できるように編集しています。



重要学習ポイントについては、論点ナンバーとタイトルが表示されています。

F ネットワーク・インフラのセキュリティ

Point ネットワークでは、ネットワーク・インフラに係るセキュリティについて学習します。ファイアウォールや侵入検知システム、暗号化システムなど重要な概念がいくつも含まれているので、それぞれの特徴を整理してしっかり理解しましょう。

1.ファイアウォール
ここでは、ファイアウォールの概要と種類、構成について扱う。それぞれの特徴や利点について詳しく解説する。

論点 118 ファイアウォール

ファイアウォールとは、組織内のネットワークと外部ネットワークとの間に設置され、組織内のネットワークを外部から保護するためのセキュリティ・システムである。その種類と構成には、以下がある。

a) 種類	1) パケットフィルタリング型
	2) アプリケーションゲートウェイ型
	3) その他
c) 構成	1) 公開サーバーをインターネット側セグメントに接続した構成
	2) 公開サーバーを内部ネットワークに接続した構成
	3) 非武装地帯(Demilitarized Zone: DMZ)

図1 ファイアウォールの概要

1) ファイアウォールは、ルータ、サーバー等様々なソフトウェアを使用した、ハードウェアとソフトウェアの組合せであり、組織内のセキュリティ方針に

そのトピックで学習するポイントが記載されています。学習前には必ず目を通すようにしてください。

理解すべき重要な概念やキーワードについて豊富な図解で解説しています。



さまざまな学習環境に対応できる電子テキストもご利用可能(有料オプション)

電子テキストは、インターネットブラウザ上とiOSアプリで提供する学習ツールです。製本版テキストを持ち歩かなくても、お手元の端末で学習可能です。

※端末はご自身でご用意ください。

- メモや書き込みを端末間で同期
- 網羅的なテキスト検索機能
- オフライン環境下でも利用可能
※アプリをダウンロードしたiOS端末のみ

2 多彩な問題演習コンテンツ

本試験を想定し、4択のカード型問題集(MCカード)、インターネット上の問題演習ツール(Webプラクティス)をご用意しています。それぞれテキストの128の論点に関連付けられているので、論点ごとに理解度を確認していただけます。ISACA®のレビューマニュアルからの抜粋問題集では、さらに実践的トレーニングが可能です。

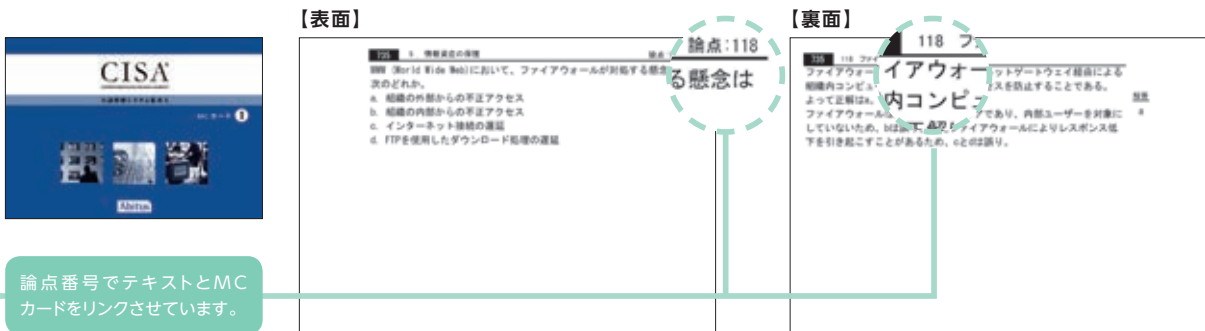
MCカード

効率的なアウトプット演習をA6サイズのカード型で実践

MCカードはISACA®が発行する「CISA®試験サンプル問題&解答・解説集」を全て収めたカード型問題集です。

A6サイズの問題集は持ち運びに便利であり、通勤時間などスキマ時間を有効に活用して演習できます。

MCカードの問題配列はテキストの「論点」の順番と一致しているため、復習の際に問題を探す手間が省けます。

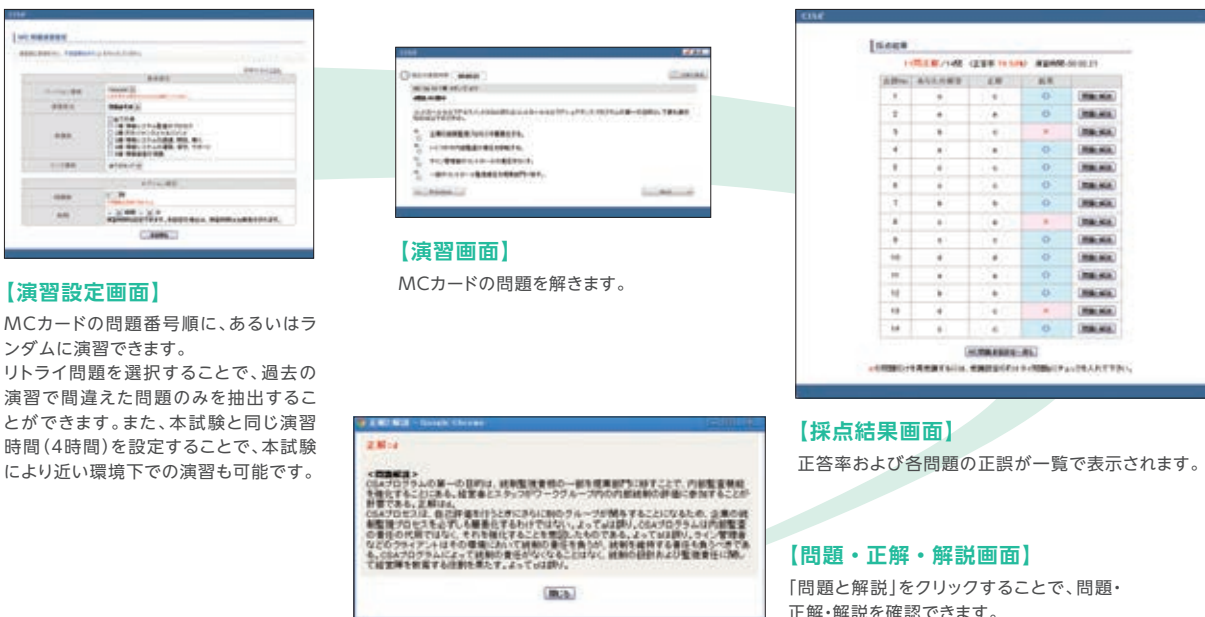


論点番号でテキストとMCカードをリンクさせています。

Webプラクティス

模擬試験の感覚で実践的トレーニング

Webプラクティスでは、MCカードの問題をインターネットでいつでも演習できます。CISA®試験の問題はドメインとは無関係にランダムに配列されていますが、Webプラクティスには問題をシャッフルする機能があり、制限時間を設けることができるので、本試験により近い環境で実践的トレーニングが可能です。



【演習設定画面】

MCカードの問題番号順に、あるいはランダムに演習できます。

リトライ問題を選択することで、過去の演習で間違えた問題のみを抽出することができます。また、本試験と同じ演習時間(4時間)を設定することで、本試験により近い環境下での演習も可能です。

【演習画面】

MCカードの問題を解きます。

【採点結果画面】

正答率および各問題の正誤が一覧で表示されます。

【問題・正解・解説画面】

「問題と解説」をクリックすることで、問題・正解・解説を確認できます。